

りんご「ふじ」わい性台木利用樹の簡便な樹相診断手法

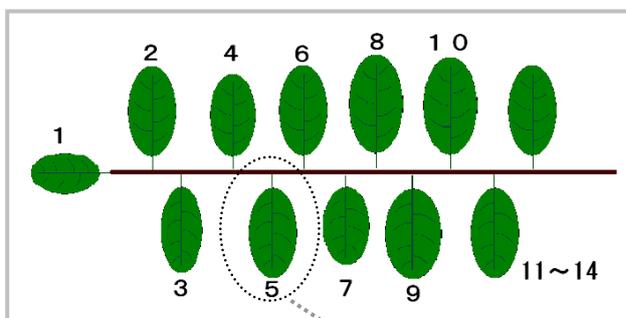
【1 成果の概要】

- (1) 「ふじ」の果実品質の目標である果重 330g 以上、糖度 15%以上、果皮色カラーチャート 5 以上の果実の生産が可能で、従来の基準値に合う簡便な樹相診断基準は下表のとおりです。
- (2) 先端新梢長を測る代わりに先端新梢の葉数を数えることで樹勢の判断が可能です。また、葉の縦径を測ることで葉色の測定に代えることができます。
- (3) 調査は7月上旬に行います。

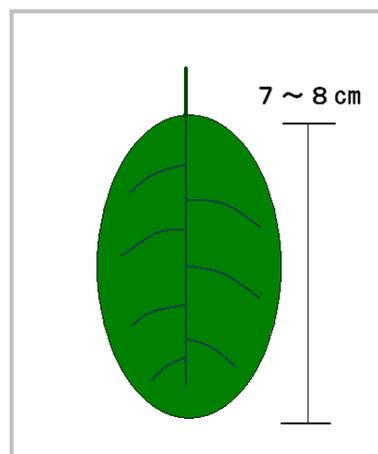
表 「ふじ」わい性台木利用樹の簡便な樹相診断基準

調査項目 ^(注)		調査時期	基準値
簡便な診断項目	先端新梢の葉数	7月上旬	11～14枚
	葉の縦径		7～8cm
(従来の診断項目)	(先端新梢長)		(20～30cm)
	(葉色カラーチャート値)		(4.5～5.5)

注) 簡便な診断の場合、先端新梢の葉数を主要な調査項目とし、葉の縦径は補助的な調査項目とします。



先端新梢の葉数: 樹冠外周で目通りの高さの3年生以上の枝の先端新梢における展葉した葉の数



葉の縦径: 先端新梢における中位葉の葉の長さ

【2 留意事項】

- (1) 好適樹相を維持するためには、剪定を始め、施肥など総合的な管理を実施します。